クリニカルパスウェイ
突発性難聴の治療を受ける患者さんへ

2016年4月作成
東京慈恵会医科大学西部医療センター

患者番号　@PATIENTID　　**患者氏名**　@PATIENTNAME

	外来	入院1日～2日目	入院3日～5日目	入院6日～7日目	入院8日～10日目	退院日
日時	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日
目標	□安静にして、症状悪化を防ぎましょう	□点滴治療を受け、ゆっくり休息をとりましょう	□点滴治療を受け、ゆっくり休息をとりましょう	□点滴治療を受け、ゆっくり休息をとりましょう	□点滴治療を受け、ゆっくり休息をとりましょう	□診察後、午前中に退院します
食事	□制限はありません	□制限はありません □必要時制限食となります	→	→	→	
活動	□制限はありません	□制限はありません □めまいやふらつき等がある場合は、転倒の危険があるため、無理に1人で動いたりせず看護師にお知らせください	□制限はありません □めまいやふらつき等がある場合は、転倒の危険があるため、無理に1人で動いたりせず看護師にお知らせください	□制限はありません	□制限はありません	□退院後の外来予約票をお受け取りください
検査処置	□場合により採血・レントゲン等があります □聴力検査があります	□4階の耳鼻処置室で診察します □血糖値を1日3回測定する場合があります □入院中にMRIを撮ることがあります	□4階の耳鼻処置室で診察します □血糖値を1日3回測定する場合があります □聴力機能検査をします	□4階の耳鼻処置室で診察します □血糖値を1日3回測定する場合があります □経過によって点滴治療を2クール行うことがあります	□4階の耳鼻処置室で診察します □血糖値を1日3回測定する場合があります □聴力機能検査をします	□4階の耳鼻処置室で診察します
薬	□常用薬は、医師の指示に従い内服してください	□常用薬は、医師の指示に従い内服してください □入院後、薬の内容を確認しますので、ご持参ください □薬剤師から薬の説明があります □ステロイドホルモンを点滴します □症状改善を目的としてビタミン剤、循環改善薬、副作用対策として胃薬を内服します	→ **〈点滴治療とは〉** ・ソル・コーテフというステロイドホルモンを点滴で使用します ・ソル・コーテフを500mg－400mg－300mg－200mg－100mgというように5日間かけて点滴します　これを1クールといいます ・症状により2クール行う場合があります			
清潔		□シャワー浴は可能です	→	→	→	
指導説明	**＜入院持参物品＞** □常用薬(7日分) □この説明書 □日常生活物品	□ゆっくり休むことが回復には必要です □眠れない場合は入眠剤をお渡しします □入院中は、感染予防のため手洗い・うがい・マスクの着用をお願いします	□点滴の副作用として胃部不快感・むくみ・体重増加・吐気・発疹・血圧上昇(動悸・頭痛)などがあります 症状がある時は看護師にお知らせください		**＜退院後の生活について＞** ・ゆっくりと過ごせる環境を整えましょう ・退院処方がある場合は、指示通りに内服してください ・回復には個人差がありますので、外来にて経過を診ていきます ・退院後も胃部不快感、むくみ、発疹などの症状が続く場合があります 退院後も症状が長く続く場合は、電話連絡の上、受診してください ・退院後も手洗い・うがい・マスクの着用を継続し、感染対策予防に努めましょう	